

第39回 北日本インターベンショナル ラジオロジー研究会 (日本IVR学会北日本地方会)



プログラム・抄録集

会期 **2026年10月10日****土**

会場 **北海道大学医学部学友会館「フラテ」**

北海道札幌市北区北15条西7丁目

当番世話人 **宮本 憲幸** (JA北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科)

当番世話人挨拶



第39回北日本IVR研究会（日本IVR学会北日本地方会）

当番世話人 宮本 憲幸

JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科（画像下治療）

第39回北日本IVR地方会（日本IVR学会北日本地方会）を2026年10月10日に北海道大学医学部にて開催させていただくこととなりました。当番世話人のJA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科宮本憲幸です。地域のIVR研究会の地方会化を進める方向から、本会を日本IVR学会北日本地方会と併記させていただきます。自分が今回の北海道開催で当番世話人に指名して頂き大変光栄なことではありますが、同時に「うまくできるのだろうか？」と漠然と不安になりました。何から準備したら良いかもわからない状況でしたが、めったに経験できることではないと思い北日本IVR研究会事務局、北大画像診断学教室や関係する皆様の御協力やご助言を頂きながらここまで準備を進めてまいりました。ここ数年の当番世話人をされた先生達からの情報は大変参考になりました。改めて感謝申し上げます。帯広開催も考えましたが、千歳空港や札幌からのアクセス負担（移動時間2-3時間、一部携帯圏外、野生動物に遭遇する）を考慮し北海道大学医学部での開催といたしました。

さて、IVRは保険適応の拡大や新規デバイスの登場が続いています。皆様の施設では新しいIVRが認知され普及しているでしょうか？個人的には予想以上の広がりがない様にも感じています。一方で従来からあるIVRではより高い治療精度や安全性が求められています。以前にも増してIVRを取り巻く環境が急速に変化している状況ですが、本研究会を通じ情報や経験を継続的に共有していくことは重要と思われます。

今回の研究会の特筆すべき事は一般演題が最終的に51題と非常に多くの演題が集まったことです。当番世話人としてこれほどうれしいことはありません。ありがとうございます。北日本地区のIVRの盛り上がりを感じました。いずれも興味深い演題で全ての演題は採択しました。演題を申し込まれた先生には深く感謝いたします。演題数が例年よりも多く、日程や会場の制約等により今回は2会場同時進行となる点は大変申し訳ありません。発表時間（発表5分、討論3分）も十分ではありませんが、会場をはしごしつつ演題ご討議いただければと思います。また座長を引き受けていただいた先生にも感謝申し上げます。今回、座長に関しては経験豊富なベテランの先生に加え、各施設でIVRを中心的に行っているであろう若手の先生にもお願いしてあります。現場目線のactiveな討論を期待します。この会の特徴でもある多職種セッションは今回も継承し「医療安全」と「情報共有」をテーマにいたしました。医師、看護師、放射線技師の三職種で有意義な討論ができればと思います。ランションセミナー、スポンサーセミナーでは北日本ローカルの先生より講演をいただきます。デバイスのコツやpitfallをより身近に学べると期待されます。企業展示は7社の展示を予定しています。是非展示コーナーにも立ち寄ってデバイスに手を触れて企業の方とも情報交換してみてください。

10月の北海道は高い山では冠雪の便りが聞かれ、札幌街中でも紅葉が始まる季節です。日暮れも早くなり会が終わる頃にはすっかり暗くなり肌寒くなっているかもしれません。収穫の秋でもあり会の後には北海道の食材や自然を堪能しリフレッシュしていただければと思います。

皆様と秋の北海道、札幌でお会いできることを心より楽しみにしております。

2026年8月吉日

（エルニーニョ現象？で珍しく涼しい夏の北海道帯広より）

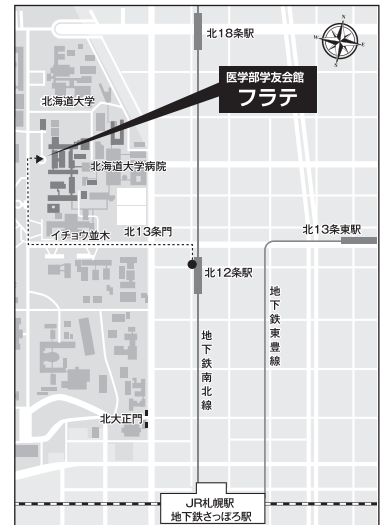
交通案内図

北海道大学構内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

会場：北海道大学医学部学友会館「フラテ」
(〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目)

■「フラテ」へのアクセス方法

- ① 北12条駅→イチョウ並木→メインストリート（徒歩約20分）
- ② 北12条駅→北海道大学病院横（徒歩約15分）
- ③ タクシー（JR札幌駅より約10分）

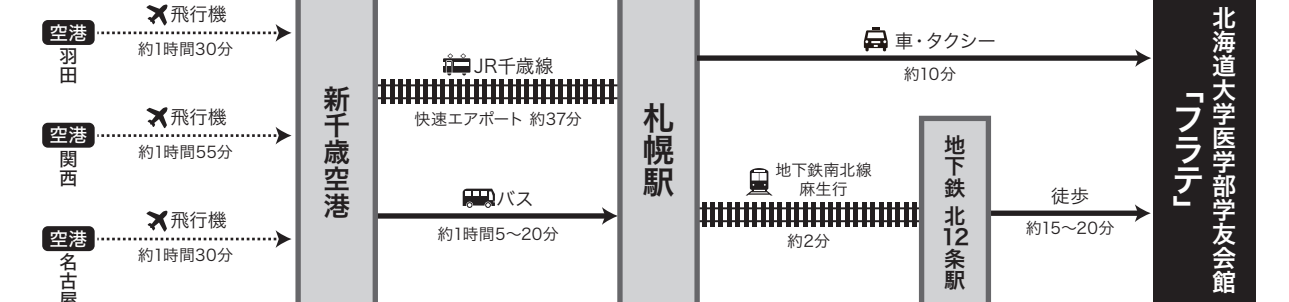


〈近隣マップ〉

■ 新千歳空港からお越しの場合

【JR札幌駅まで】 ・JR千歳線 快速エアポート 約37分
・連絡バス・路線バスの利用 1時間5～20分

Figure 1. The effect of the concentration of the inhibitor on the polymerization of α -methylstyrene initiated by BuLi in THF at -78°C . The concentration of α -methylstyrene was 0.1 mol/L , and the concentration of BuLi was 0.01 mol/L . The concentration of the inhibitor was 0.001 mol/L (a), 0.002 mol/L (b), and 0.005 mol/L (c).

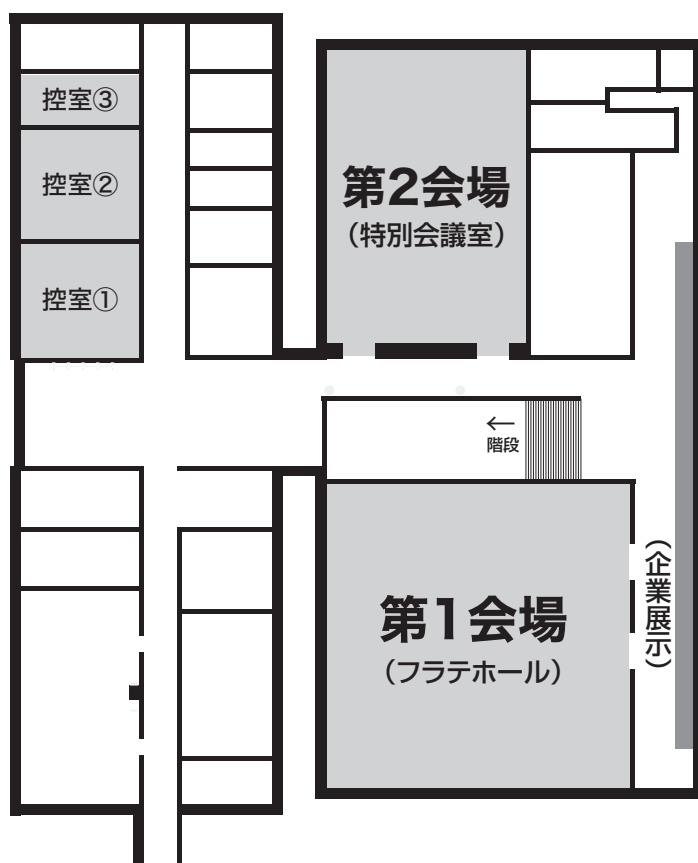


会場案内図

1F



2F



■展示会場(2階)

10月10日(土) 9:30~16:00

【出展企業】

- クックメディカルジャパン合同会社
- メリットメディカル・ジャパン株式会社
- センチュリーメディカル株式会社
- カーディナルヘルス株式会社
- 株式会社メディコスヒラタ
- 株式会社ユー・ティー・エム
- 株式会社パイオラックスメディカルデバイス

参加者へのご案内

1. 参加受付

オンライン（Payvent）での事前登録をお願いいたします。北日本 IVR 研究会 HP（<http://kita-nihon-ivr.kenkyuukai.jp/information/>）のインフォメーションに申し込み方法の記載がございます。

参加される方はネームカードを各自印刷していただき、当日会場へ必ず持参してください。

ネームカードホルダーは会場にてご用意いたします。

■**受付場所** 北海道大学医学部学友会館「フラテ」1F

■**受付日時** 2026 年 10 月 10 日（土）9：00～16：30

■**参加費**（不課税）

医師	IVR 学会会員 5,000 円	非会員 9,000 円
メディカルスタッフ	IVR 学会準会員 1,000 円	非会員 3,000 円
初期研修医	1,000 円	
学生	無 料	
企業の方	9,000 円	

■**支払方法**

参加費につきましては、オンラインによる事前参加登録時のクレジットカード決済のみ承っております。
（現金および銀行振込には対応いたしておりません）

2. クロークについて

施設にはクロークがありません。

3. 単位取得について

本会の出席で、以下の単位を取得できます。

- ・日本 IVR 学会専門医更新単位（10 単位）
- ・日本医学放射線学会専門医更新単位（3 単位）
- ・日本 IVR 学会日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース更新単位（10 単位）
- ・日本血管造影・インターベンション専門治療放射線技師更新単位（2 単位）

4. 会場内でのお願い

- ・携帯電話はマナーモードに設定いただくか、電源をお切りくださいますようお願いいたします。
- ・会場内の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

座長・演者へのご案内

1. 発表時間

一般演題	発表 5 分 質疑 3 分
合同シンポジウム	事前にご案内のとおり

2. 座長の皆様へ

- ・担当セッション開始 10 分前までに、次座長席にご着席ください。
- ・進行は時間厳守をお願いします。

3. 発表者の皆様へ

《発表形式、発表データについて》

- ・ご発表セッション開始 10 分前までに、次演者席にご着席ください。
- ・PowerPoint により PC プレゼンテーション（1 面）のみとします。
- ・会場で使用する PC は、下記の通りです。
【OS】 Windows11 【対応アプリケーション】 Microsoft PowerPoint 2019
- ・発表は、演台上のモニター、マウス、キーボードでご発表ください。
- ※発表者ツールを使用した発表はできません。予めご了承ください。
- ・発表スライドは 16：9 サイズで作成いただくことを推奨します。
- ・文字化けや文字ずれを防ぐため、作成時のフォントは Windows 標準フォントをご使用ください。
- ・発表データに動画を使用される場合は、スライドに挿入してください。ハイパーリンクやデータの貼り付けはご遠慮ください。
- ・発表スライドの 2 枚目に利益相反（COI）の開示をお願いします。

《発表データの登録方法》

- ・USB メモリにてお持ちください。
- ・発表データ内に動画がある場合や Macintosh にて発表データを作成された場合は、バックアップ用にご自身の PC もあわせてご持参ください。
- ・必ずウイルスチェックを行ったうえでご持参ください。
- ・コピーした発表データは、本研究会終了後、運営事務局が責任をもって消去します。

《PC（発表データ）受付》

■日時 2026 年 10 月 10 日（土）9：30～16：00

■場所 北海道大学医学部学友会館「フラテ」1F

※ご発表セッションの 30 分前までには必ず受付（試写）いただきますようお願いいたします。

参加申し込みについて

Payvent による事前申し込み制とさせていただきます。

下記の参加登録 URL から参加登録ください。

参加される方はネームカードを各自印刷していただき、当日会場へ必ず持参してください。

ネームカードホルダーは会場にてご用意いたします。

■参加登録 URL

<https://ec-mice.com/ivr39/registration.html>

■支払方法

参加費につきましては、オンラインによる事前参加登録時のクレジットカード決済のみ承っております（現金および銀行振込には対応いたしておりません）。

参加登録方法

■カード決済サイト（Payvent）でのお申込・お支払の流れ

方法：クレジットカード決済、Google pay、Applepay

クレジットカードは、「VISA」「Mastercard」「American Express」「JCB」「ダイナース」「ディスカバー」が使用できます。

お申し込みいただいた金額は、各カード会社との規約に基づいて、通常のカードご利用と同様にご指定の口座より振り替えさせていただきます。お振替日については、各クレジットカード会社より送付されるご利用明細書などでご確認ください。

クレジットカードご利用明細書に記載される支払名義は「Payvent」となります。

※ご登録いただくメールアドレスは PC のメールアドレスを推奨しております。

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性があります。

参加証・領収書等の発行について

領収書・ネームプレート・参加証明書は、事前参加登録とお支払いが完了した方に自動送信される内容確認メールにてダウンロードが可能となります。ただし、参加証明書は研究会終了後にダウンロードが可能となります。

必要な書類を入手されるまで、自動送信メールは大切に保管ください。

※自動送信メールは、noreply@payvent.net のメールアドレスから送信されます。

メールが届かない場合、迷惑メールに振り分けられている可能性がありますので、迷惑メールフォルダをご確認下さい。

研究会にご参加される際には、ネームプレートを各自で印刷の上、ご持参ください。

ネームホルダーは当日会場にて準備いたしますので、持参いただいたネームプレートを入れて、会場内では常に携帯してください。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた個人情報は、第 39 回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会（日本 IVR 学会北日本地方会）の運営準備の目的以外での使用はいたしません。

ご登録いただいた個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理いたします。

キャンセルについて

参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。

タイムテーブル 第1会場

10月10日土	
10:00	10:00 開会挨拶
10:05~10:37	10:05~10:37 一般演題 血管系腹部 (1) 座長: 山崎康之 (北海道大学画像診断学) 演者: 古河宏暁、吉野裕紀、猪股里帆、滑川千慧 (所要時間: 32分)
10:37~11:09	10:37~11:09 一般演題 血管系腹部 (2) 座長: 渡辺祈一 (JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科画像下治療) 演者: 平井玲央、石戸谷俊太、伊東一志、森田亮 (所要時間: 32分)
11:20~12:05	11:20~12:05 教育講演 (共催: バイエル薬品株式会社) 『放射線カテーテル治療専門医制度』: 新基準が求める非血管系 IVR の経験目標と ドレナージの臨床的意義 造影剤に関する最近の話題 座長: 宮本憲幸 (JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科画像下治療) 演者: 阿保大介 (北海道大学病院 放射線診断科准教授) (所要時間: 45分)
12:10~13:10	12:10~13:10 ランチョンセミナー (共催: テルモ株式会社) アズールの有用例 座長: 川倉健治 (南東北病院放射線診断科診療部長) 演者: 畠山賢仁 (秋田大学医学部附属病院放射線診断科) 渡辺祈一 (JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科画像下治療) (所要時間: 60分)
13:20~13:35	13:20~13:35 総会 (所要時間: 15分)
13:35~14:25	13:35~14:25 合同シンポジウム IVRにおける医療安全のための情報共有 座長: 宮本憲幸 (JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線科画像下治療) 山村肇 (札幌東徳洲会病院診療放射線技師) 佐藤恵美 (手稲溪仁会病院血管造影室師長) 演者: 桂田祐貴、大野裕貴、曾山武士 (所要時間: 50分)
14:30~15:10	14:30~15:10 一般演題 非血管 (1) 座長: 加藤健一 (岩手医科大学放射線医学講座) 演者: 作原祐介、阿保大介、川内健太郎、篠原翔平、砂田大貴 (所要時間: 40分)
15:15~16:15	15:15~16:15 スポンサーセミナー1 (共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社) Boston Scientific Presents ーデバイス選択で変わるIVRー 座長: 曾山武士 (市立釧路総合病院放射線診断・IVR科) 演者: 「迷わず使えるEMBOLDー太径動脈isolationを中心とした幅広い活用法ー」高橋文也 (手稲溪仁会病院放射線診断科) 「Interlock/Emboldの適材適所ーコイルの使い分けを再考するー」吉野裕紀 (市立函館病院放射線診断・IVR科) 「当院におけるDC bead使用の実態ー安定した塞栓術のためのささやかな工夫と注意点ー」 石戸谷俊太 (旭川医科大学病院放射線科) (所要時間: 60分)
16:15~17:15	16:15~17:15 スポンサーセミナー2 (共催: ゲルベ・ジャパン株式会社/ビー・ブラウンエススクラップ株式会社) ヒスアクリル/リピオドル塞栓術のすべてー基本から応用、トラブルシューティングー 座長: 阿保大介 (北海道大学病院放射線診断科准教授) 演者: 「血も固まるような戦慄の実験!」豊口裕樹 (山形大学放射線診断科) 「NBCAを使いこなすー挙動を左右する因子の理解とパラメータ設定」 高橋文也 (手稲溪仁会病院放射線診断科部長) (所要時間: 60分)
17:20~17:52	17:20~17:52 一般演題 非血管 (2) 座長: 作原祐介 (斗南病院放射線診断科) 演者: 針谷綾花、平野仁也、矢萩慶太、影山咲子 (所要時間: 32分)
18:00	18:00 閉会挨拶

タイムテーブル 第2会場

10月10日土	
10:00	
10:05~10:37	一般演題 血管系その他 座長：長谷川哲也（東北大学放射線診断科） 演者：北川悠、森田亮、砂田大貴、石戸谷俊太 （所要時間：32分）
10:30	
10:37~11:17	一般演題 血管系静脈 座長：曾山武士（市立釧路総合病院放射線診断・IVR科） 演者：加藤健一、楚山紗月、興石泰樹、黒岩大地、渡邊大祐 （所要時間：40分）
11:00	
11:30	
12:00	
12:30	
13:00	
13:30	
14:00	
14:30	
14:30~15:10	一般演題 血管系末梢血管 座長：吉野裕紀（市立函館病院放射線診断・IVR科） 演者：中川純一、木下堅太郎、壺井匡浩、遠藤成、松田律史 （所要時間：40分）
15:00	
15:15~15:31	一般演題 看護師 座長：渡邊香留（旭川医科大学手術部副看護師長） 演者：松橋正子、中田哲子 （所要時間：16分）
15:30	
15:31~16:11	一般演題 放射線技師（1） 座長：大溝翼（手稲溪仁会病院診療技術部） 演者：大野裕貴、佐藤和樹、信夫章宏、青木大芽、大澤由妃乃 （所要時間：40分）
16:00	
16:11~16:43	一般演題 放射線技師（2） 座長：上山亮（JA北海道厚生連帯広厚生病院放射線技術科） 演者：高坂優吾、赤瀬優希、葛西健之、中島広貴 （所要時間：32分）
16:30	
16:45~17:17	一般演題 血管系頸胸部（1） 座長：掛端伸也（弘前大学放射線診断学講座） 演者：切田薫平、今井茂樹、奥田洋輝、関野啓史 （所要時間：32分）
17:00	
17:17~17:57	一般演題 血管系頸胸部（2） 座長：齊藤正人（札幌医科大学放射線治療科） 演者：山内洋一、伊藤健一、小宮山仁、近藤大皓、知花信 （所要時間：40分）
17:30	
18:00	

共催セミナー一覧（第1会場）

■教育講演 11:20～12:05

共催：バイエル薬品株式会社

『「放射線カテーテル治療専門医制度」：新基準が求める非血管系 IVR の経験 目標とドレナージの臨床的意義造影剤に関する最近の話題』

座長：宮本 憲幸（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

演者：阿保 大介（北海道大学病院 放射線部 准教授）

■ランチョンセミナー 12:10～13:10

共催：テルモ株式会社

『アズールの有用例』

座長：川倉 健治（南東北病院 放射線診断科 診療部長）

「アズール 18、35 外膨潤の初期経験」

演者：畠山 賢仁（秋田大学医学部附属病院 放射線診断科）

「AZURCX 35、ソフト 3D の使いどころ」

演者：渡辺 祈一（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

■スポンサードセミナー 1 15:15～16:15

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

『Boston Scientific Presents—デバイス選択で変わる IVR—』

座長：曾山 武士（市立釧路総合病院 放射線診断・IVR 科）

「迷わず使える EMBOLD—太径動脈 isolation を中心とした幅広い活用法—」

演者：高橋 文也（手稲溪仁会病院 放射線診断科）

「Interlock/Embold の適材適所—コイルの使い分けを再考する—」

演者：吉野 裕紀（市立函館病院 放射線診断・IVR 科）

「当院における DC bead 使用の実際—安定した塞栓術のためのささやかな工夫と注意点—」

演者：石戸谷 俊太（旭川医科大学病院 放射線科）

■スポンサードセミナー 2 16:15～17:15

共催：ゲルベ・ジャパン株式会社／ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

『ヒスアクリル/リピオドール塞栓術のすべて～基本から応用、トラブルシューティング～』

座長：阿保 大介（北海道大学病院 放射線部）

「血も固まるような戦慄の実験!?!」

演者：豊口 裕樹（山形大学 放射線診断科）

「NBCA を使いこなす — 挙動を左右する因子の理解とパラメータ設定」

演者：高橋 文也（手稲溪仁会病院 放射線診断科）

プログラム

第1会場（フラテホール）

開会挨拶 10:00～10:05

一般演題 血管系腹部(1) 10:05～10:37

座長：山崎 康之（北海道大学 画像診断学）

1. 肝被膜下出血による肝コンパートメント症候群に対しエンボスフィアで塞栓した1例
古河 宏暁（石巻赤十字病院 放射線診断科）
2. 橈骨動脈アプローチ肝動脈造影におけるラーニングカーブ
吉野 裕紀（市立函館病院 放射線診断・IVR科）
3. 凝固障害・肝障害を伴うGIST多発肝転移出血に対するTAEの1例
猪股 里帆（東北医科薬科大学病院 卒後研修支援センター）
4. 出血性ショックを伴った外傷性胃破裂に対し塞栓術が有用と考えられた1例
滑川 千慧（済生会新潟県中央基幹病院 研修医）

一般演題 血管系腹部(2) 10:37～11:09

座長：渡辺 祈一（JA北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

5. NOM中に2度TAEを施行し血管損傷形態の変化を確認した鈍的脾損傷の1例
平井 玲央（市立函館病院 臨床研修センター、放射線診断・IVR科）
6. 腎血流変化に伴う予期しない腎出血の3例
石戸谷 俊太（旭川医科大学 放射線医学講座）
7. 短期間で形成された脾頭部周囲動脈瘤の1例
伊東 一志（公立置賜総合病院 放射線科）
8. 外科的靱帯切離とPTAの併用が有効であった正中弓状靱帯圧迫症候群の1例
森田 亮（北海道大学病院 放射線診断科）

教育講演 11:20～12:05

共催：バイエル薬品株式会社

『「放射線カテーテル治療専門医制度」：新基準が求める非血管系IVRの経験 目標とドレナージの臨床的意義造影剤に関する最近の話題』

座長：宮本 憲幸（JA北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

演者：阿保 大介（北海道大学病院 放射線部 准教授）

『アズールの有用例』

座長：川倉 健治（南東北病院 放射線診断科 診療部長）

「アズール 18、35 外膨潤の初期経験」

演者：畠山 賢仁（秋田大学医学部附属病院 放射線診断科）

「AZURCX 3 5、ソフト 3D の使いどころ」

演者：渡辺 祈一（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

総 会 13:20～13:35

合同シンポジウム 13:35～14:25

座長：宮本 憲幸（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

山村 肇（札幌東徳洲会病院 診療放射線技師）

佐藤 恵美（手稲溪仁会病院 血管造影室 師長）

9. IVR に携わる看護師の放射線防護の実態と今後の放射線防護教育に関する研究

桂田 祐貴（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 看護部 手術室・血管造影室）

10. IVR における医療安全のための情報共有～放射線技師の目線から～

大野 裕貴（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線技術科）

11. IVR における医療安全のための情報共有～医師部門～

曾山 武士（市立釧路総合病院 放射線診断・IVR 科）

一般演題 非血管(1) 14:30～15:10

座長：加藤 健一（岩手医科大学 放射線医学講座）

12. 嚢胞性腎癌に対し、TAE と嚢胞穿刺吸引を併用し経皮的凍結治療を施行した 1 例

作原 祐介（国家公務員共済組合連合会 斗南病院 放射線診断科）

13. 既存ドレーン瘻孔を利用した術後膀胱液瘻ドレナージの一例

阿保 大介（北海道大学病院 放射線診断科）

14. Conamon PVP キットの初期使用経験～手技上の工夫と課題～

川内 健太郎（札幌東徳洲会病院 画像・IVR センター）

15. 当院における Arrow Oncontrol 骨生検システムの使用経験

篠原 翔平（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科、北海道大学病院 放射線診断科）

16. 経皮的および経直腸的ドレナージが奏功した多区域深部膿瘍の 1 例

砂田 大貴（名寄市立総合病院 救急科、旭川医科大学 放射線医学講座）

スポンサードセミナー 1 15:15～16:15

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

『Boston Scientific Presentsーデバイス選択で変わる IVRー』

座長：曾山 武士（市立釧路総合病院 放射線診断・IVR 科）

「迷わず使える EMBOLDー太径動脈 isolation を中心とした幅広い活用法ー」

演者：高橋 文也（手稲溪仁会病院 放射線診断科）

「Interlock/Embold の適材適所ーコイルの使い分けを再考するー」

演者：吉野 裕紀（市立函館病院 放射線診断・IVR 科）

「当院における DC bead 使用の実際ー安定した塞栓術のためのささやかな工夫と注意点ー」

演者：石戸谷 俊太（旭川医科大学病院 放射線科）

スポンサードセミナー 2 16:15～17:15

共催：ゲルベ・ジャパン株式会社／ビー・ブラウンエスクラップ株式会社

『ヒスアクリル/リピオドール塞栓術のすべて～基本から応用、トラブルシューティング～』

座長：阿保 大介（北海道大学病院 放射線部）

「血も固まるような戦慄の実験!？」

演者：豊口 裕樹（山形大学 放射線診断科）

「NBCA を使いこなすー挙動を左右する因子の理解とパラメータ設定」

演者：高橋 文也（手稲溪仁会病院 放射線診断科）

一般演題 非血管(2) 17:20～17:52

座長：作原 祐介（斗南病院 放射線診断科）

17. CT ガイド下穿刺における経路制約と装置干渉の CG 評価

針谷 綾花（東北大学大学院 医学系研究科 放射線診断学分野）

18. CT ガイド下穿刺支援装置開発の医工・産学連携基盤となる実寸大 CT モックアップ制作

平野 仁也（東北大学医学部 医学科）

19. 上下腹神経叢ブロックを併用した子宮動脈塞栓術の 1 例

矢萩 慶太（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 放射線診断科）

20. 子宮頸癌治療後のオピオイド抵抗性疼痛に対し段階的に神経ブロックを施行した 1 例

影山 咲子（東北大学病院 放射線診断科）

閉会挨拶 18:00～18:05

第2会場（特別会議室）

一般演題 血管系その他 10:05～10:37

座長：長谷川 哲也（東北大学 放射線診断科）

21. 脾動脈仮性動脈瘤に対して金属アーチファクト低減を目的とした塞栓を施行した一例

北川 悠（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科 画像下治療）

22. 3D プリント血管モデルを用いた研修医の IVR トレーニングの前後比較研究

森田 亮（北海道大学病院 放射線診断科）

23. 当院救急科で実施する経カテーテル動脈塞栓術の現状と課題

砂田 大貴（名寄市立総合病院 救急科、旭川医科大学 放射線医学講座）

24. 当院におけるストーマ静脈瘤に対する塞栓術／硬化療法の臨床的検討

石戸谷 俊太（旭川医科大学 放射線医学講座）

一般演題 血管系静脈 10:37～11:17

座長：曾山 武士（市立釧路総合病院 放射線診断・IVR 科）

25. 腹腔一静脈シャントの静脈カテーテル不全に対する CO₂急速注入法の経験

加藤 健一（岩手医科大学医学部 放射線医学講座）

26. ヨード造影剤禁忌例に対し REACT による非造影 MRI を用いた AVS の 1 例

楚山 紗月（新潟大学医歯学総合病院 放射線診断科）

27. 経静脈的塞栓術が有効であった硬膜外動静脈瘻の 1 例

興石 泰樹（弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座）

28. 難治性腹水に対するデンバーシャント留置術の有用性の検討

黒岩 大地（福島県立医科大学附属病院 放射線科）

29. 左下大静脈を有する下大静脈症候群に対し大静脈ステント留置を行った 1 例

渡邊 大祐（弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座）

一般演題 血管系末梢血管 14:30～15:10

座長：吉野 裕紀（市立函館病院 放射線診断・IVR 科）

30. 透析用カテーテル留置で生じた内側大腿回旋動脈－大腿静脈瘻の一例
中川 純一（札幌厚生病院 放射線科）
31. 短期再狭窄透析シャントに対する DCB の治療成績－前回治療による効果の違い－
木下 堅太郎（大崎市民病院 放射線診断科）
32. 地方中核病院における閉塞性末梢動脈病変に対する EVT の経験
－腸骨動脈・大腿膝窩動脈閉塞突破を中心に－
壺井 匡浩（大崎市民病院 放射線診断科）
33. 自家静脈グラフト穿刺でステントグラフト留置した外腸骨動脈仮性瘤の 1 例
遠藤 成（東北医科薬科大学医学部 放射線医学）
34. 感染性動脈瘤が疑われ、経皮的組織生検を試みた右下肢多発動脈瘤の一例
松田 律史（札幌東徳洲会病院 画像・IVR センター、救急集中治療センター）

一般演題 看護師 15:15～15:31

座長：渡邊 香留（旭川医科大学 手術部 副看護師長）

35. IVR 看護実践力向上のための体験型学習会の導入－当院における INE の活動報告－
松橋 正子（北海道大学病院 中央診療検査 1 ナースセンター）
36. IVR 前処置不備改善に向けた取り組み～安全・安心を目指して～
中田 哲子（弘前大学医学部附属病院 放射線部・光学医療診療部）

一般演題 放射線技師(1) 15:31～16:11

座長：大溝 翼（手稲溪仁会病院 診療技術部）

37. DSA 撮影における 10 倍希釈専用プロトコルを用いた造影効果の基礎的検討
大野 裕貴（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線技術科）
38. 腹部救急 IVR における DSA like image 導入に向けた基礎的検討：ファントム実験
佐藤 和樹（医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 放射線科）
39. 腹部 IVR における CBCT と MDCT の線量比較
信夫 章宏（山形大学医学部附属病院 放射線部）
40. 血管撮影装置における距離計測精度の検証
青木 大芽（北海道大学病院 医療技術部門 放射線部）
41. 当院での腹部大動脈ステントグラフト内挿術における造影剤使用量低減の取り組み
大澤 由妃乃（医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 放射線科）

一般演題 放射線技師(2) 16:11～16:43

座長：上山 亮（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線技術科）

42. 血管撮影装置更新時における患者負担に関する検討

高坂 優吾（市立旭川病院 中央放射線科）

43. 産科危機的出血における当院の課題と解消にむけた取り組み

赤瀬 優希（市立釧路総合病院 医療技術部 放射線技術科）

44. 妊婦の IVR 時の被ばく防護に関する検討

葛西 健之（青森県立中央病院 放射線部）

45. 骨盤外傷に対する CT サブトラクション法が有用であった報告

中島 広貴（手稲溪仁会病院 診療技術部、北海道科学大学 保健科学研究所 博士課程）

一般演題 血管系頸胸部(1) 16:45～17:17

座長：掛端 伸也（弘前大学 放射線診断学講座）

46. 未破裂肋間動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した 1 例

切田 薫平（岩手県立中央病院 放射線診断科）

47. 巨大浅側頭仮性動脈瘤を伴った前額部 AVM に対して Hybrid 治療が奏功した 1 例

今井 茂樹（総合南東北病院 放射線診断科）

48. 肺動脈腫瘍塞栓を伴う腎癌肺転移の喀血に 2 回の TAE を施行した 1 例

奥田 洋輝（札幌医科大学附属病院 放射線医学講座）

49. 肺動静脈奇形に対する経カテーテル塞栓術の単施設における 71 病変の検討

関野 啓史（福島県立医科大学 放射線医学講座）

一般演題 血管系頸胸部(2) 17:17～17:57

座長：齊藤 正人（札幌医科大学 放射線治療科）

50. ECMO 施行中に生じた胸壁出血に対し IVR 止血を行った院内 2 症例の報告

山内 洋一（青森県立中央病院 救急科）

51. 下咽頭癌術後に発症した carotid blowout syndrome に対して VIABAHN®留置で救命し得た 1 例

伊藤 健一（東北大学病院 放射線診断科）

52. 特発性肺内血腫に対して超選択的肺動脈塞栓術を施行した 1 例

小宮山 仁（市立函館病院 放射線診断・IVR 科）

53. 気管支動脈塞栓中に急性心筋梗塞をきたし死亡した一例

近藤 大皓（総合南東北病院 放射線診断科）

54. BT 短絡術後患者の喀血に対して選択的 DSA・CTA で責任血管を同定し塞栓した一例

知花 信（東北大学病院 放射線診断科）

北日本IVR研究会 世話人・幹事名簿

令和7年11月

役 職	氏 名	施 設 名
代表世話人	高 瀬 圭	東北大学
世 話 人	阿 保 大 介	北海道大学
	石 山 公 一	市立秋田総合病院
	伊 東 一 志	公立置賜総合病院
	及 川 茂 夫	岩手県立中央病院
	加 藤 健 一	岩手医科大学
	掛 端 伸 也	弘前大学医学部放射線科
	掛 田 伸 吾	弘前大学医学部放射線科
	齊 藤 正 人	札幌医科大学
	佐 藤 明 弘	仙台医療センター
	櫻 井 康 雄	手稲溪仁会病院
	作 原 祐 介	国家公務員共済組合連合会 斗南病院
	篠 原 敦	大館市立総合病院
	関 裕 史	新潟県立がんセンター 新潟病院
	澁 谷 剛 一	青森県立中央病院
	爲 田 忠 信	太田総合病院附属 太田西ノ内病院
	関 野 啓 史	福島医科大学
	高 木 聰	長岡赤十字病院
	田 中 良 一	岩手医科大学歯学部 放射線科
	豊 口 裕 樹	山形大学
	壺 井 匡 浩	大崎市民病院
	畠 山 賢 仁	秋田大学医学部附属病院
	花 輪 真	医療法人仁友会 介護老人保健施設みやびの森
	堀 井 陽 佑	新潟大学医歯学総合病院
	宮 本 憲 幸	帯広厚生病院
	吉 村 宣 彦	新潟市民病院
	吉 岡 邦 浩	岩手医科大学医学部 放射線科
	渡 邊 順 久	山形県立河北病院
	川 倉 健 治	上尾中央総合病院
コメディカル スタッフ世話人	皆 川 貴 裕	竹田総合病院
	中 田 充	東北大学病院 放射線部
	新 田 見 耕 太	新潟大学医歯学総合病院 診療支援部放射線部門
	松 橋 正 子	北海道大学病院 看護部
	對 馬 真 貴 子	青森県立中央病院 看護部
	岩 城 龍 平	岩手医科大学附属病院
	信 夫 章 宏	山形大学病院
監 査 幹 事	清 治 和 将	みやぎ県南中核病院
会計幹事 事務局	黒 澤 洋 子	東北大学病院放射線診断科 秘書

(敬称略)

北日本 IVR 研究会 会則

第一章 総則

- 第1条 本会は、北日本インターベンショナルラジオロジー研究会、通称「北日本 IVR 研究会」と称する。
- 第2条 本会はその目的に賛同する北日本（北海道、東北、新潟）の専門の学識と経験を有する医師によって構成される。
- 第3条 本会は事務局を代表世話人のもとに置く。

第二章 目的及び事業

- 第4条 本会は Interventional Radiology に関する Update な研究発表、シンポジウム、及び学術講演などにより知識の向上を計るとともに、会員相互の交流の場とする。また、その目的達成のため日本 IVR 学会との親密な連携を図る。
- 第5条 本会はその目的を達成するため、次の活動を行う。
1. 研究発表
 2. シンポジウム
 3. 学術講演会
 4. その他、目的達成に必要な事項
- 第6条 研究会は原則として年1回開催する。
- 第7条 開催時期及び運営に関わる事項については、世話人会において決定し実施する。

第三章 会員

- 第8条 本会の会員は以下のとおりとする。
1. 正会員（医師）：本会の目的に賛同し、専門の学識と経験を有し、定められた年会費を納める者
 2. 準会員（医師以外）：本会の目的に賛同し、看護・放射線技術等の専門知識と経験を有し、定められた年会費を納める者
 3. 名誉会員：永年世話人を務めた者、または本会に特別の功労があった者のうちから当番世話人または代表世話人が世話人会の議を経て推薦する者
 4. 賛助会員：本会の目的に賛同し、その事業を援助する法人および団体
 5. 正会員・賛助会員の年会費及び入会金は細則で定める。
 6. 会費は年度分を毎年3月31日までに納めなければならない。
 7. 賛助会員の権利と特権
 - （1）会員名簿の閲覧
 - （2）会則・細則の閲覧
 - （3）研究会への参加
 - （4）予算書の閲覧
 - （5）世話人会議事録の閲覧

第9条 入退会手続き

1. 入会希望者は所定の申込書に記入し、入会金および当該年度会費を添えて提出し、世話人会の承認を得ること。
2. 名誉会員として推薦された者は入会手続きを要せず本人承認をもって会員となる。
3. 退会希望者はその旨を事務局に届け出ること。
4. 再入会は細則に定める。

第10条 会員資格の喪失

1. 退会
2. 成年被後見人・被保佐人の宣告
3. 死亡・失踪宣告
4. 除名

第11条 代表世話人は以下の場合、世話人会議決により会員を除名できる。

1. 会費3年以上滞納
2. 会員としての義務違反
3. 本会の名誉を傷つけ、また目的に反する行為があった場合

第12条 既納会費は理由の如何を問わず返還しない。

第四章 役員および会議

第13条 本会は事業遂行のため以下の役員を置く。任期は原則3年、再任可。

1. 代表世話人 若干名
2. 世話人 20～30名(以下の幹事を含む)
 - a) 会計幹事
 - b) 監査幹事

第14条 代表世話人は世話人会の互選により決定する。

第15条 世話人会議決は世話人3分の2以上出席で成立、過半数で可決。委任状(メール含む)可。

第16条 当番世話人は持ち回りとし、開催地の世話人が研究会を企画する。

第17条 新世話人は世話人会にて審議・決定。選出は推薦・略歴・業績を基に行う。

第18条 世話人会は運営を遂行し議決内容を総会に報告する。

第19条 代表世話人・世話人の定年は65歳、任期は65歳時の総会終了まで。

第20条 運営に関する細目は世話人会で決定する。

第21条 会計幹事は経費出納業務を行う。

第22条 監査幹事は運営の適正性を監督する。

第23条 会計幹事・監査幹事は世話人会互選により決定。

第五章 会計

第24条 運営経費は会費・共賛費等による。

第25条 会計年度は4月1日～翌3月31日。

第26条 会費年額は世話人会で決定する。

第27条 名誉会員および学生は参加費免除。

第六章 会則変更

第 28 条 会則変更は世話人会出席者（委任状含む）3 分の 2 以上で成立、過半数同意により決定（メール評決可）。

第 29 条 会則に疑義が生じた場合は世話人会の解釈に従う。

附 則

本会則は 1999 年 9 月 4 日より適用。

1999 年 9 月 4 日改正

2006 年 7 月 8 日改正

2012 年 9 月 8 日改正

2013 年 9 月 7 日改正

2015 年 9 月 5 日改正

2016 年 9 月 6 日改正

北日本 IVR 研究会 細則

1. 会期

年 1 回、原則 9 月上旬

2. 開催（持ち回り順）

- （1）宮城県
- （2）岩手県
- （3）秋田県
- （4）北海道
- （5）山形県
- （6）新潟県
- （7）福島県
- （8）青森県
- （9）北海道

3. 筆頭演者

原則会員に限る。ただし研修医、看護師、学生、留学生等は当番世話人承認により例外可。

4. 年会費

正 会 員 2,000 円
準 会 員 1,000 円
賛助会員 20,000 円
名誉会員 免除

5. 助成金

各研究会への助成金は 50 万円を上限とする。余剰金は返却する。

6. 会員

日本 IVR 学会代議員は原則本会会員であることが望ましい。

附 則

本細則は 2013 年 9 月 7 日より施行。

謝 辞

この度の第39回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会（日本IVR学会北日本地方会）の開催にあたりましては、下記の各企業より、格別のご支援を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

当番世話人 宮本 憲幸（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科）

共催セミナー

テルモ株式会社
ゲルベ・ジャパン株式会社／
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
バイエル薬品株式会社

企業展示

クックメディカルジャパン合同会社
センチュリーメディカル株式会社
株式会社メディコスヒラタ
株式会社パイオラックスメディカルデバイス
メリットメディカル・ジャパン株式会社
カーディナルヘルス株式会社
株式会社ユー・ティー・エム

広 告

バイエル薬品株式会社
株式会社根本杏林堂
株式会社東海メディカルプロダク
メディキット株式会社
S Bカワスミ株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
株式会社竹山
シーマン株式会社
エーザイ株式会社
中外製薬株式会社
富士フイルムメディカル株式会社
日本ライフライン株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
日本ゴア合同会社
特定非営利活動法人メディカルイメージラボ

寄 付

JA 北海道厚生連帯広厚生病院
ハナコメディカル株式会社

（順不同・敬称略：2026年9月末日現在）

第39回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会（日本IVR学会北日本地方会） プログラム・抄録集

発行：2026年10月

編集：宮本 憲幸（第39回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会（日本IVR学会北日本地方会）当番世話人）

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 放射線科

〒080-0024 北海道帯広市西14条南10丁目1番地



// ブレークスルーを 患者さんへ

バイエルのミッション「Health for all, Hunger for none
(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」の実現に向けて、
患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>



Health for all, Hunger for none

MB | MICRO BALLOON

Pinnacle Blue® 20&27

TMP Micro Balloon Catheter

販売名:TMPマイクロバルーンカテーテル 承認番号:22600BZX00534000



製造販売業者



株式会社
東海メディカルプロダクツ

本社 / 〒486-0808 愛知県春日井市田楽町字更屋敷1485番地
TEL 0568-81-7954 FAX 0568-81-7785
URL <http://www.tokaimedpro.co.jp/>



SX-Pro series

X線防護眼鏡



1) SX-Pro
フィットオーバータイプ



2) SX-Pro Neo
MADE IN SABAE



3) SX-Pro SP
スポーツタイプ



〈お問い合わせ先〉

信頼をかたちに

シーマン株式会社
<https://www.sheen-man.co.jp>

本社 大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
TEL(06)6354-7702 FAX(06)6354-7114
東京支店 TEL(03)5207-3521 FAX(03)5207-3522
九州支店 TEL(092)283-7400 FAX(092)283-7401
名古屋営業所 TEL(052)218-7337 FAX(052)218-7338

- 1) 3) 販売名: SX-Pro X線防護眼鏡
届出番号: 27B1X00011R00001
2) 販売名: SX-Pro Neo X線防護眼鏡
届出番号: 27B1X00011R00002

シーマン株式会社
カタログ一覧はこちら



h/hc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていきたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

病気だけでなく、
創薬の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



中外製薬



ロシュグループ



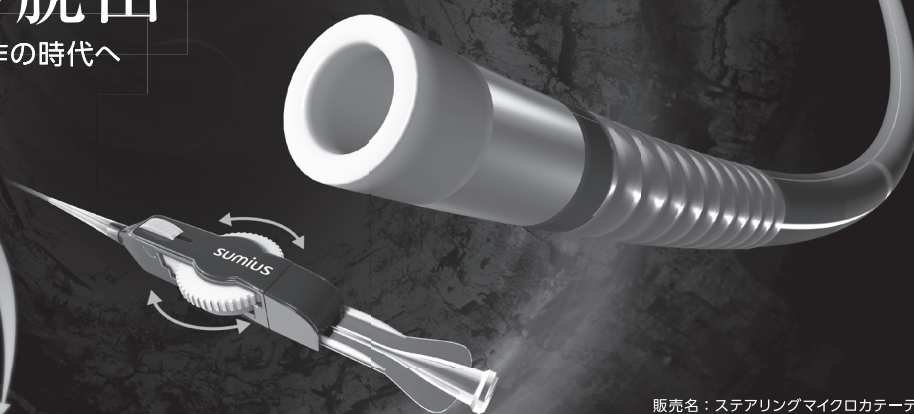
 **SB-KAWASUMI**

sumius

LEONIS Mova (レオニスムーバ®)

混沌からの脱出

新しいマイクロカテーテル操作の時代へ



販売名：ステアリングマイクロカテーテル
医療機器承認番号：22600BZX00482000

【製造販売業者】

SBカワスミ株式会社

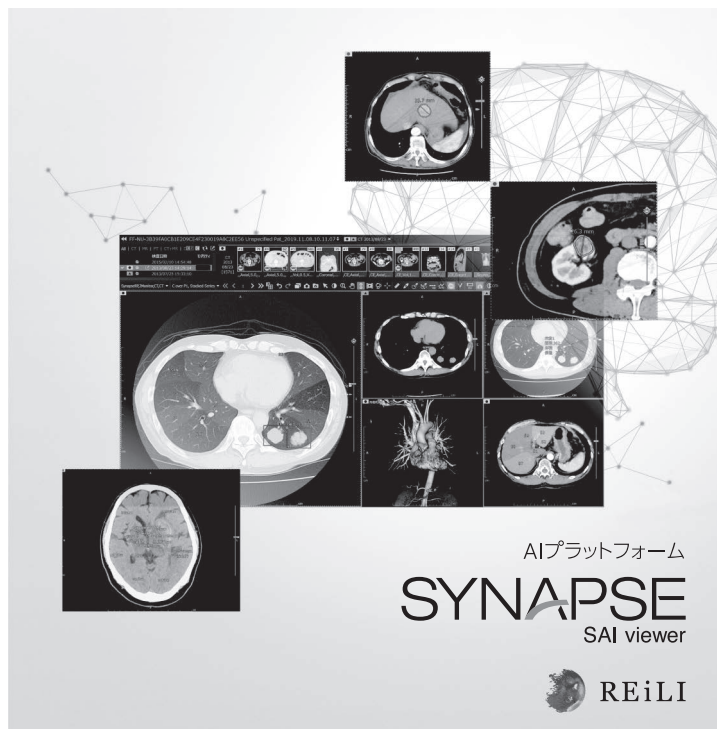
〒210-8602 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番4号

【お問い合わせ先電話番号】

東京 ☎03-5462-4824
札幌 ☎0133-60-2400
仙台 ☎022-742-2471

大阪 ☎06-7659-2156
名古屋 ☎052-726-8381
北関東 ☎0495-77-2621

広島 ☎082-542-1381
福岡 ☎092-624-0123

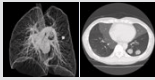
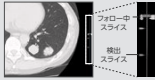


AI in Workflow, AI for Solution.

読影ビューワ機能

読影基本機能が強化	3D表示機能がさらに充実	所見文作成支援機能を搭載
画像配置を伴うレイアウト、異なる検査の比較読影など、日ごろ行う操作をシームレスに利用できるように進化しました。	サジタル、コロン断面、ボリュームレンダリングやMIP画像など2D、3D表示を組み合わせた読影が可能になりました。	計測結果や臓器認識結果を融合した新しい定型文機能の利用が可能となりました。

画像解析オプション All-In-one 3つの技術アプローチがここに結実

臓器セグメンテーション	コンピュータ支援診断	ワークフローの効率化
解剖学的構造を認識 臓器セグメンテーションでコンピュータ支援診断、性状分析の対象領域を決定します。	病変の検出を支援 コンピュータ支援診断で肺結節の候補を推定。フォロー対象のスライスをオレンジ色、検出したスライスを緑色に表示します。	レポート作成を支援 SAI viewerで抽出した領域に対して、所見文に記載する性状を推定し、複数の所見文候補を提示します。
 販売名: 画像処理プログラム FS-AI683 型	 販売名: 肺結節検出プログラム FS-AI688 型	 販売名: 画像診断ワークステーション用プログラム FS-V686 型

■ 製造販売業者: 富士フイルム株式会社 販売業者: 富士フイルムメディカル株式会社 ■ [SYNAPSE SAI viewer] は以下の医療機器を含む製品の総称です。
 ・ SYNAPSE SAI viewer 用 画像表示プログラム (販売名: 画像診断ワークステーション用プログラム FS-V686 型 認証番号: 231ABBZX00028000)
 ・ SYNAPSE SAI viewer 用 肺結節検出プログラム (販売名: 肺結節検出プログラム FS-AI688 型 承認番号: 30200BZX00150000)
 ・ SYNAPSE SAI viewer 用 肋骨骨折検出プログラム (販売名: 肋骨骨折検出プログラム FS-AI691 型 承認番号: 30300BZX00244000)
 ・ SYNAPSE SAI viewer 用 画像処理プログラム (販売名: 画像処理プログラム FS-AI683 型 認証番号: 231ABBZX00029000)

SYNAPSE SAI viewer の
画像解析オプションはこちら



富士フイルム メディカル株式会社

<https://fujifilm.com/fms/>

Canon

より効率的に、より効果的に。

高次元にバランスされた、Angio装置とCT装置が

医療現場に新たな可能性を生み出します。

Angio CT

同室設置コンセプト

CTA/CTP、CT透視に基づく

高度な血管系・非血管系インターベンション手技や

先進の救急救命医療をハイレベルにサポートします。



*画像は組合せの一例です。

[一般的名称] 搬運型デジタル式循環器用透視診断装置 [販売名] X線循環器診断システム Alphenix INFX-8000C [認証番号] 218ACBZX00004000 [製造販売元] キヤノン株式会社
 [一般的名称] 全身用X線CT診断装置 [販売名] CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A [認証番号] 305ACBZX00005000 [製造販売元] キヤノン株式会社

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

K000090

Avenir

Embolic Coil

Safety, Speedy, Smoothly

販売名: Wallaby Avenir コイルシステム 一般の名称: 中心循環系血管内塞栓促進用補綴材 医療機器承認番号: 30200BZ100008000

選任製造販売業者

日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
https://www.jll.co.jp

JLL Japan Lifeline



株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス



「医師、医療スタッフとともに
人々の生命と健康を守る」という
創業以来の使命感のもと
社会貢献度の高い仕事と
誇りを持ち、
日々努力を続けております。

生命と健康への貢献

血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

整形外科

「専門領域に特化した支援・サポート」

眼科

脳神経外科

ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。

テクニカルサポート

循環器

循環器外科

画像診断機器



株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社/〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

☎011-611-0100 (代表)

https://www.takeyama.co.jp

●ほくたけメディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」/札幌市中央区北11条西14丁目1番1号(ほくやくビル4F)・☎011-700-5833 https://www.takeyama.co.jp/villageplus/

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

【札幌圏】 中央支店: ☎011-859-8714 北支店: ☎011-789-1020 新札幌支店: ☎011-859-8717
北大支店: ☎011-859-8712 札幌大支店: ☎011-859-8713 西支店: ☎011-668-2526
豊平支店: ☎011-876-8456 札幌東支店: ☎011-859-8711 札幌南支店: ☎011-676-6263
札幌西支店: ☎011-859-8722

【道央・道南圏】 室蘭支店: ☎0143-45-1221 苫小牧支店: ☎0144-53-2101 小樽支店: ☎0134-29-4524
岩見沢支店: ☎0126-25-6992 函館支店: ☎0138-83-5000

【道東・道北圏】 釧路支店: ☎0154-25-2241 北見支店: ☎0157-31-3224 帯広支店: ☎0155-35-5800
旭川支店: ☎0166-73-3011 旭川大支店: ☎0166-73-3011 旭川東支店: ☎0166-73-3011
空知支店: ☎0125-74-6005 道北支店: ☎01654-3-9955

【首都圏】 東京支店: ☎03-3814-0103 横浜営業所: ☎045-232-3310

Medtronic

A simple ablation system with meaningful benefits

Cool-tip™ RFAシステム Eシリーズは、ニードル電極からラジオ波電流を患部組織へ流し、経皮、腹腔鏡下又は開腹術で組織を凝固及び焼灼します。

使用中はポンプにより冷却用滅菌水を電極内部に通して灌流させることによりその温度上昇を防ぎ、温度とインピーダンスのモニタリングによって電極周囲組織の炭化によるインピーダンスの上昇を抑えることが可能です。タッチスクリーンインターフェイスの採用により、簡単で効率的なセットアップをサポート。また「オートiモード」では、あらかじめ出力調整についてプログラムすることができ、施術中の段階的な出力の上昇を自動で行うことが可能です。

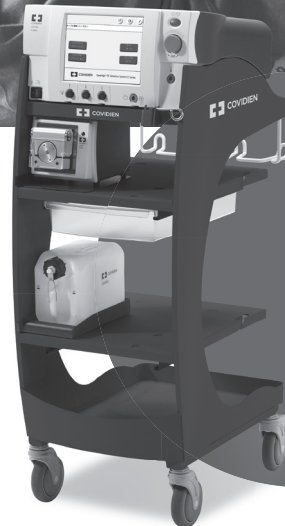
コヴィディエンジャパン株式会社
medtronic.co.jp



シンプルで直感的なデザイン
対極板に安全機能を搭載

販売名: Cool-tip RFAシステム Eシリーズ
医療機器承認番号: 22300BZX00335000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
© 2022 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。



Cool-tip™
RF Ablation
System E Series

Medikit Biopsy Needle

CORECUT[®] SE

⊗ Semi-automatic Biopsy Needle



販売名：メディキットバイオプシーニードル
一般的名称：単回使用組織生検用針
クラス分類：II（管理医療機器）
医療機器認証番号：306ABBZX00003000



メディキット株式会社

販売元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元：東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000
営業所／東京・札幌・仙台・埼玉・千葉・八王子・横浜・金沢・名古屋・京都・関西・神戸・広島・松山・福岡・宮崎・沖縄
流通倉庫／宮崎県日向市・千葉県佐倉市
<https://www.medikit.co.jp/>
<https://www.togomedikit.co.jp/>

ご使用前に製品の電子添文を確認の上、記載されている説明に従って正しく使用してください。

2024.06
20240826CT10-1



DUOism

世界初のアンギオ用デュアルタイプインジェクター（2筒式）として高い評価を集める“PRESS DUO”。そこに込められた理念はそのままに、生まれたのが“PRESS DUO elite”です。多彩な先進技術と根本杏林堂の“ism”を集結して生まれた“elite”。アンギオの新時代は、ここから始まります。

PRESS DUO elite

Dual type Contrast Delivery System
for CT Like imaging

株式会社 根本杏林堂

東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541

<http://www.nemoto-do.co.jp>

NEW

